



福井市でバスの「車内事故防止教室」が開催されました

平成28年8月12日、福井市内「木楽館」において、福井市、（公社）福井県バス協会、酒生地区コミュニティバス運行協議会の皆さまの協力を得て、高尾第一自治会の約20名の方々を対象に、高齢の利用者に安全に乗車するための知識を深めていただき、車内事故件数の削減に繋げることを目的とした「車内事故防止教室」を開催しました。

運輸局職員から説明を受ける参加者のみなさん



中部運輸局管内において、乗合バスの車内で転倒して負傷するなどの車内事故件数は、平成27年に77件発生しており、対前年比で9件増加している状況です。また、平成27年に発生した車内事故の重傷者数は16人で、このうち11人(約7割)の方が70歳代以上と高齢の利用者への対策が重要となっております。

中部運輸局では、こうした活動を管内各運輸支局とともに継続し、高齢の利用者の方々に安全に乗車するための知識を深めていただき、バスの車内事故件数の削減につなげていきたいと考えています。